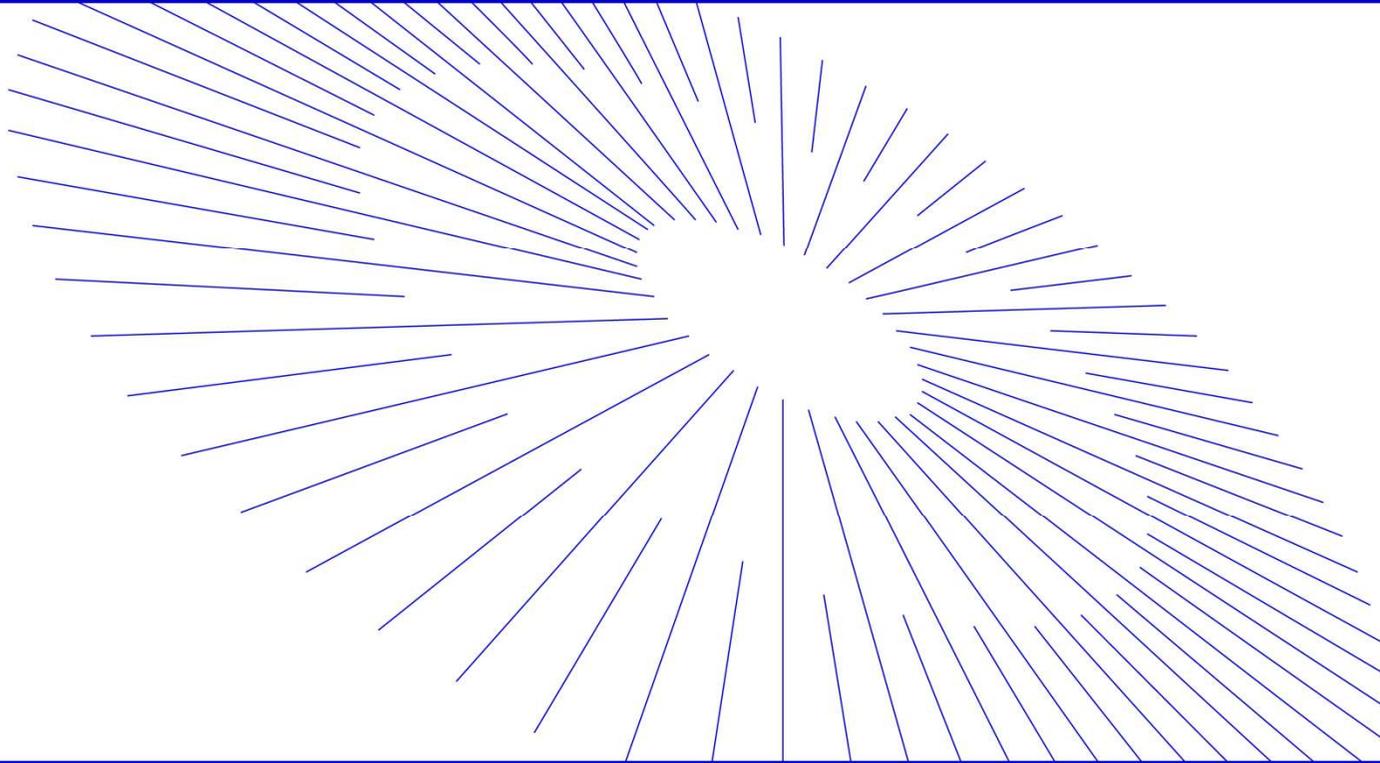


Smart Construction Simulation 2026.3.3(予定)リリース版について



- Smart Construction Simulationのアップデートについて、以下の日程・内容にてリリースを致します。
- システムメンテナンスの為、下記日程は該当するサービスのお取扱いができなくなります。（※リリース日程・時間帯・内容については、状況に応じ変更する場合がございます。予めご了承ください。）

日程：日本時間 3月3日(火) 19:00～24:00

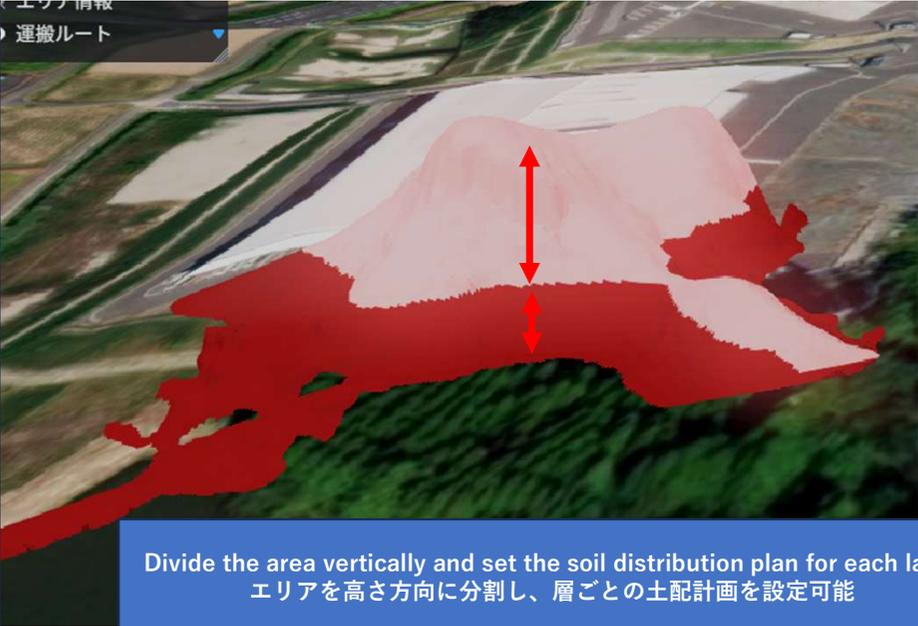
NO.	対象機能	概要	詳細
1	Simulation (機能改善)	エリアの高さ分割機能を実装	<p>エリアを標高に応じて分割できるようになりました。分割方法は大きく分けて以下の2種類があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高さ間隔」「層の数」「標高値」を指定して高さ方向に分割する方法 ・該当エリアの法面の高さを利用して分割する方法 <p>これにより、分割された各層ごとに土配計画を設定できるようになりました。各機能の説明については、次ページ以降をご参照ください。</p>
2	Simulation (機能改善)	プラン比較機能（テーブルビュー形式）を実装	<p>シミュレーションの比較メニューにおいて、選択した複数プランの計算結果を、従来の土量グラフに加えてテーブル形式でも比較できるようになりました。また、以下の項目では、プランごとの最良値/最低値をマークで確認できるようになっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総コスト ・稼働日数 ・燃料使用量 ・平均施工量 ・仕事量 <p>併せて、左パネルの表示項目についても一部変更を行っています。</p>

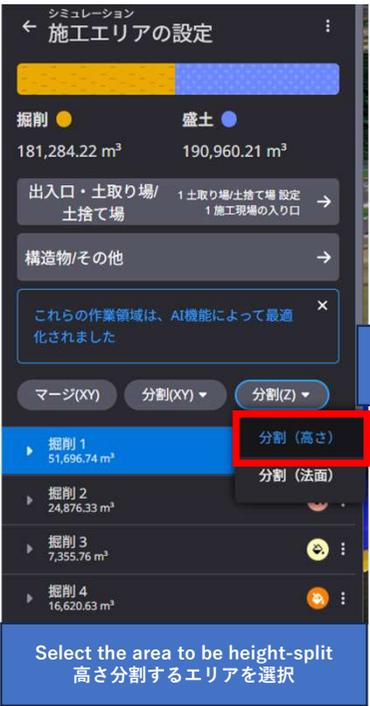
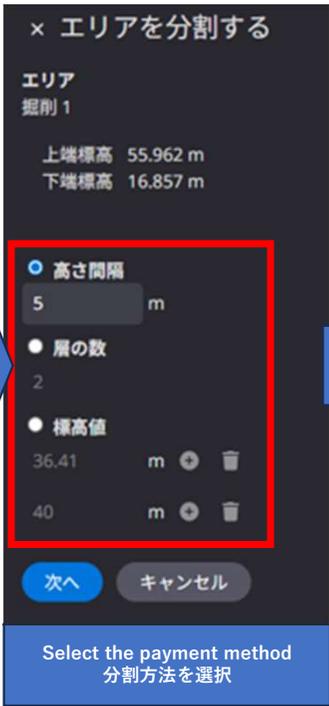
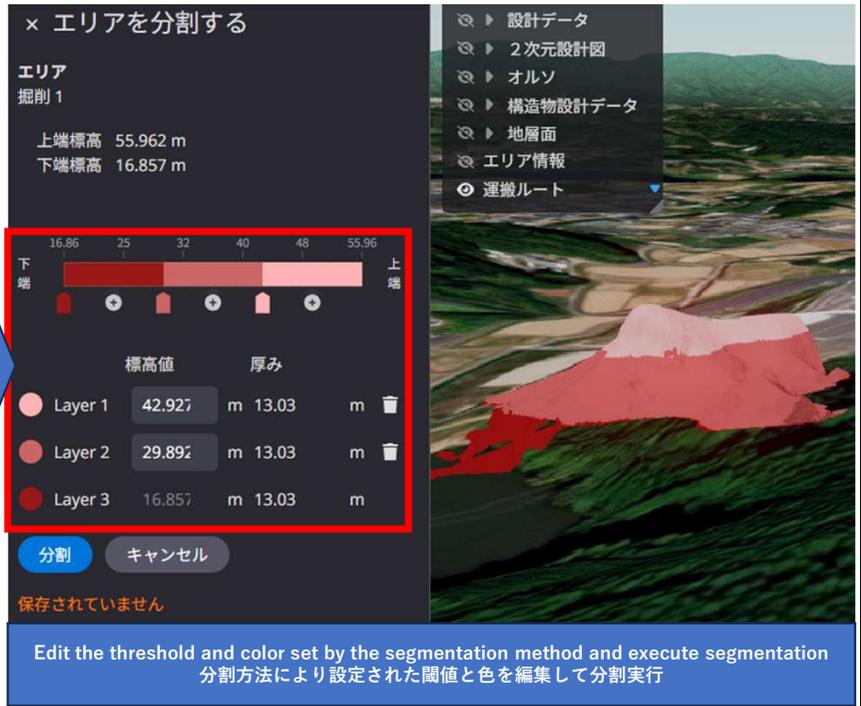


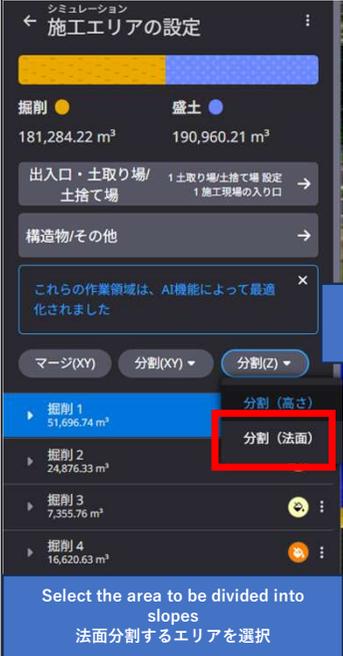
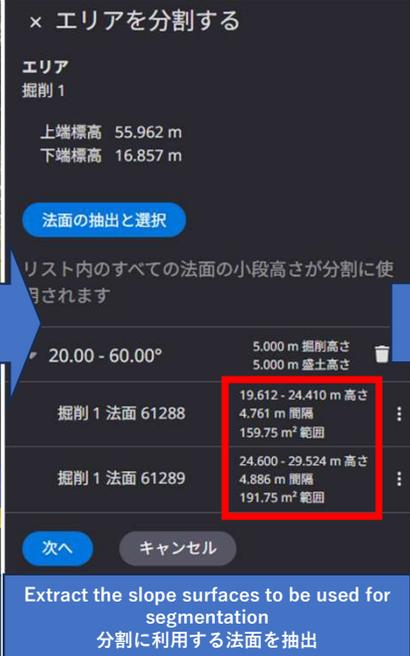
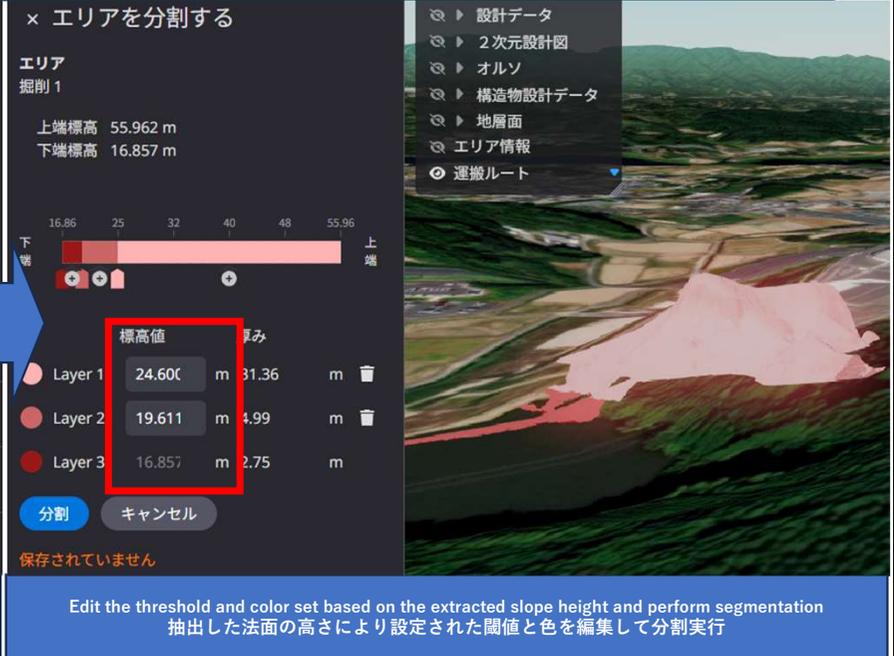
NO.	対象機能	概要	詳細
3	Simulation (機能改善)	任意タスク一括インポート対応	<p>工程表画面にて、任意タスクを Excel データから一括でインポートできるようになりました。任意タスクのインポートダイアログからテンプレートファイルをダウンロードし、作成したい任意タスクを入力したファイルを取り込むことで、一括で作成できます。なお、インポートしても既存の工程表はそのまま保持されます。また、テンプレートのフォーマットを変更した場合、取り込みできない可能性があります。</p>
4	Simulation (機能改善)	利用規約ページURL切り替え対応	<p>利用規約 (Terms of Service) ページの遷移先を変更しました。ユーザーの言語設定に応じて、以下のページへ遷移します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語 : 日本語版の利用規約 ・日本語以外 : 英語版の利用規約
5	Simulation (不具合改修)	任意タスク設定プラン複製後にCurrent Schedule送信が失敗する問題を修正	<p>任意タスクを設定したプランを複製後、複製前の任意タスクが残っている状態でCurrent Scheduleからデータ送信を行うと、データ送信エラーが発生する問題を修正しました。</p> <p>本修正により、複製前の任意タスクを使用しても、正常にデータ送信ができるようになります。</p>
6	Simulation (不具合改修)	土捨て場/土取り場設定時に1m ³ 未満が不足土量判定されない問題を修正	<p>土捨て場/土取り場の設定において、残土量に対する不足分が1 m³未満の場合に、不足と判定されず「バランス」と表示されてしまう不具合を修正しました。今後は、残土量に対して1 m³未満の差分がある場合でも、差分を自動調整して残土量と一致するように作成されます。</p> <p>例：残土量 1000 m³、作成時の土量 999.1 m³ → 保存後は 1000 m³ に自動調整</p>

NO.	対象機能	概要	詳細
7	Simulation (不具合改修)	土取り場/土捨て場で土量計測が未入力で保存できてしまう問題を修正	土取り場/土捨て場で土量計測で未入力の状態で保存することができる問題を修正しました。本修正により、未入力時のチェックが正しく動作し、保存ボタンが非活性となります。
8	Simulation (不具合改修)	タスクの「日当たり施工量」の編集後に工程表の再計算で値が更新されない問題を修正	工程表画面で「日当たり施工量」の値を編集した場合に、工程表の再計算時に値が更新されない問題を修正しました。本修正により、工程表の再計算時に値が正しく更新されるようになります。
9	建機Simulation (不具合改修)	ダンプの積込時間編集時にキャンセル後も編集時の値で表示される問題を修正	計算済みプランで計算を再実行する際、ダンプの積込時間の基礎データを編集→キャンセルした場合に編集内容が表示されたままになる問題を修正しました。本修正により、基礎データを編集後にキャンセルした場合は、編集内容が反映されず、元の値が正しく表示されるようになりました。



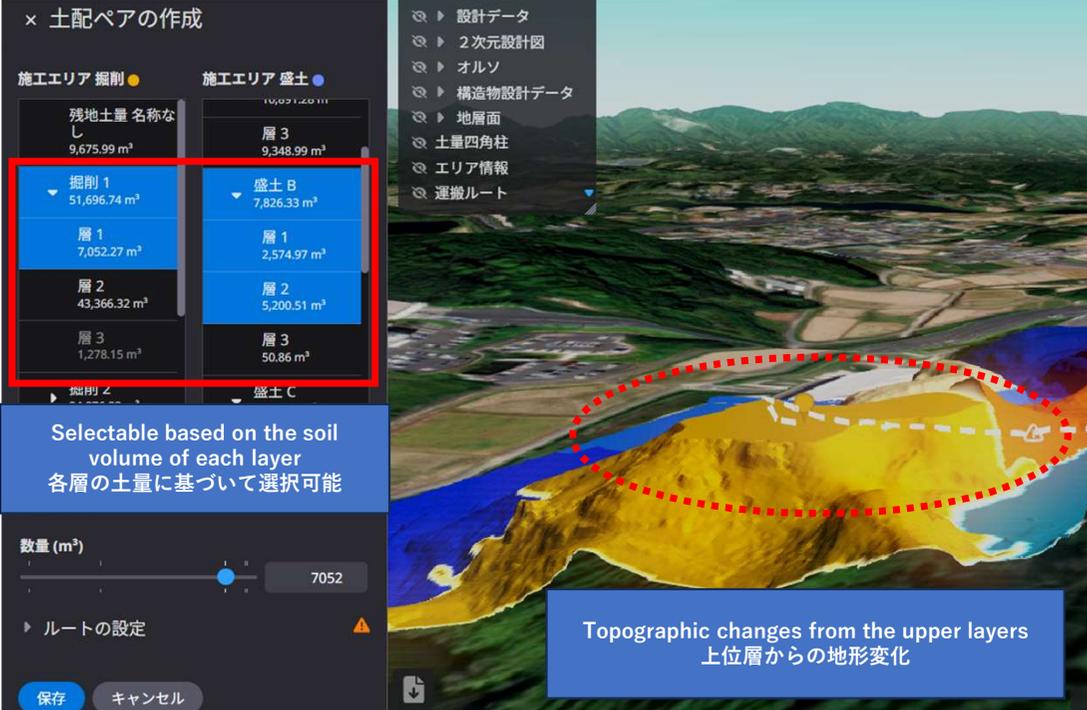
NO.	対象機能	概要
1	Simulation (機能改善)	<ul style="list-style-type: none"> 概要：エリアの高さ分割機能を実装 詳細：エリアを標高に応じて分割できるようになりました。分割方法は大きく分けて以下の2種類があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・「高さ間隔」「層の数」「標高値」を指定して高さ方向に分割する方法 ・該当エリアの法面の高さを利用して分割する方法 これにより、分割された各層ごとに土配計画を設定できるようになりました。各機能の説明については、次ページ以降をご参照ください。 <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【エリアの分割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① エリアの高さ分割 ② エリアの法面分割 ③ エリアの高さ分割（一括） <p>【層の管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 層の表示/編集/削除 <p>【土配設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 層を利用した土配設定 ⑥ 層を利用した最適土配計算 </div>  <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; margin-top: 5px; font-size: small;"> Divide the area vertically and set the soil distribution plan for each layer エリアを高さ方向に分割し、層ごとの土配計画を設定可能 </div>

NO.	対象機能	概要												
1	Simulation (機能改善)	<div data-bbox="584 395 1048 531"> <p>【エリアの分割】 ① エリアの高さ分割</p> </div> <div data-bbox="1077 411 2179 647"> <p>選択したエリアに対して、以下の方法で高さ分割をすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高さ間隔：上端から下端の標高範囲を、指定した高さ間隔で分割 ② 層の数：指定した層数に応じて、標高範囲を均等に分割 ③ 標高値：入力した標高値を基準として分割（複数入力可） </div> <div data-bbox="573 660 943 1366">  <p>Select the area to be height-split 高さ分割するエリアを選択</p> </div> <div data-bbox="981 660 1310 1366">  <p>Select the payment method 分割方法を選択</p> </div> <div data-bbox="1352 660 2213 1366">  <table border="1"> <thead> <tr> <th>Layer</th> <th>標高値</th> <th>厚み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Layer 1</td> <td>42.927</td> <td>13.03</td> </tr> <tr> <td>Layer 2</td> <td>29.892</td> <td>13.03</td> </tr> <tr> <td>Layer 3</td> <td>16.857</td> <td>13.03</td> </tr> </tbody> </table> <p>Edit the threshold and color set by the segmentation method and execute segmentation 分割方法により設定された閾値と色を編集して分割実行</p> </div>	Layer	標高値	厚み	Layer 1	42.927	13.03	Layer 2	29.892	13.03	Layer 3	16.857	13.03
Layer	標高値	厚み												
Layer 1	42.927	13.03												
Layer 2	29.892	13.03												
Layer 3	16.857	13.03												

NO.	対象機能	概要
1	Simulation (機能改善)	<div data-bbox="584 395 1048 531" style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px;"> <p>【エリアの分割】 ② エリアの法面分割</p> </div> <div data-bbox="1059 395 2201 711" style="background-color: #0072bc; color: white; padding: 10px; border-radius: 15px; margin-top: 10px;"> <p>選択したエリアに対して、抽出された法面の高さを利用して分割できます。分割は上端標高から下端標高までの範囲を、法面の高さに基づいて行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上端標高 : 55.962m <li style="padding-left: 20px;">⇓ Layer1 ・ 法面1 : 24.600m <li style="padding-left: 20px;">⇓ Layer2 ・ 法面2 : 19.612m <li style="padding-left: 20px;">⇓ Layer3 ・ 下端標高 : 16.857m </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="566 711 909 1367" style="width: 30%;">  <p>Select the area to be divided into slopes 法面分割するエリアを選択</p> </div> <div data-bbox="909 711 1319 1367" style="width: 30%;">  <p>Extract the slope surfaces to be used for segmentation 分割に利用する法面を抽出</p> </div> <div data-bbox="1319 711 2213 1367" style="width: 30%;">  <p>Edit the threshold and color set based on the extracted slope height and perform segmentation 抽出した法面の高さにより設定された閾値と色を編集して分割実行</p> </div> </div>

NO.	対象機能	概要	
1	Simulation (機能改善)	<p>【エリアの分割】 ③ エリアの高さ分割 (一括)</p>  <p>Execute height division (entire) 高さ分割 (全体) を実行</p>	<p>掘削エリア／盛土エリア単位で、指定した高さ分割オプションを使用して一括で高さ分割を行うことができます。既に層データが設定されているエリアについては、一括分割の実行時に新しい分割結果で上書きされます。また、指定した高さ間隔が不足しているなど、条件を満たさず分割を適用できないエリアについては、一括処理を実行しても高さ分割は適用されません。</p>  <p>Specify the area and select the division method エリアを指定し、分割方法を選択</p>  <p>Apply the split to the entire specified area at once 指定したエリア全体に一括で分割が適用</p>

NO.	対象機能	概要									
1	Simulation (機能改善)	<p>【層の管理】 ④ 層の表示/編集/削除</p> <p>層データが登録されているエリアでは、「▼」を展開することで層の情報を確認できます。層データを表示している間は、マップ上にも層が表示されます。なお、層データ表示中は現況地形を同時に表示できないため、層を表示すると現況地形は自動的に OFF になります。また、縦三点リーダーから層の編集や削除を行うことができます。</p>  <p>The configured layer is editable 設定されている層を編集可能</p> <p>Expand layer information from the "▼" to display it on the map 「▼」から層の情報を展開するとマップ上に表示</p> <p>× エリアを分割する</p> <p>エリア 掘削 1</p> <p>上端標高 55.962 m 下端標高 16.857 m</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>層</th> <th>標高値</th> <th>厚み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Layer 1</td> <td>36.405 m</td> <td>19.55 m</td> </tr> <tr> <td>Layer 2</td> <td>16.857 m</td> <td>19.55 m</td> </tr> </tbody> </table>	層	標高値	厚み	Layer 1	36.405 m	19.55 m	Layer 2	16.857 m	19.55 m
層	標高値	厚み									
Layer 1	36.405 m	19.55 m									
Layer 2	16.857 m	19.55 m									

NO.	対象機能	概要
1	Simulation (機能改善)	<p data-bbox="584 400 1117 531"> 【土配設定】 ⑤ 層を利用した土配設定 </p> <div data-bbox="1205 395 2190 646" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>土配設定ではエリアの層データを展開し、各層の土量に基づいてペアを作成できます。複数の層をまたいで選択することが可能で、下位層を選択した場合は、該当する上位層も自動的に選択されます。また、土配設定時は層データだけを単独で表示することはできません。現況地形が表示される状態で、上位層からの地形変化を順に確認する形となります。</p> </div>  <p data-bbox="584 1070 952 1150"> Selectable based on the soil volume of each layer 各層の土量に基づいて選択可能 </p> <p data-bbox="1122 1257 1637 1353"> Topographic changes from the upper layers 上位層からの地形変化 </p> <div data-bbox="1682 659 2190 1361" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>シミュレーション ← 土配計画の設定</p> <p>仮設ルートと走行禁止位置 0 仮設ルート 0 走行禁止位置 →</p> <p>走行可能エリア →</p> <p>AIを使用して、残りの土配計画を作成します。</p> <p>プランを生成</p> <p>追加 最適土配計算</p> <p>掘削 1 (層 1) → 盛土 B (層 1-2)</p> <p>After setting the soil distribution, display up to the layer range 土配設定後は層の範囲まで表示</p> </div>

NO.	対象機能	概要																																																						
1	Simulation (機能改善)	<div data-bbox="584 395 1189 528"> <p>【土配設定】 ⑥ 層を利用した最適土配計算</p> </div> <div data-bbox="1205 395 2197 647"> <p>最適土配計算の実行時は、各エリアに設定されている層データのうち、最上位層のみを対象として最適化が行われます。なお、層データが存在しないエリアでは、従来と同じく、エリア全体を対象とした最適化が実行されます。 また、最上位層のみが最適化対象となるため、層の深さに合わせて最適化処理を段階的に繰り返し実行していく運用イメージとなります。</p> </div> <div data-bbox="584 663 2197 1342"> <table border="1" data-bbox="1003 890 2197 1342"> <thead> <tr> <th></th> <th>掘削 1_層 1</th> <th>掘削 2_層 1</th> <th>掘削 4_層 1</th> <th>掘削 5_層 1</th> <th>残地土量</th> <th>盛土 A_層 1</th> <th>盛土 E_層 2</th> <th>盛土 D_層 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推奨の搬送土量 (m³)</td> <td>7,052.27</td> <td>3,202.92</td> <td>270.57</td> <td>8,867.03</td> <td></td> <td>12,277.10</td> <td>5,200.51</td> <td>14,449.01</td> </tr> <tr> <td>盛土 A_層 1</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td></td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>盛土 B_層 1</td> <td>0.00</td> <td>2,574.97</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td></td> <td>0.00</td> <td>5,200.51</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>盛土 D_層 1</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td></td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>14,449.01</td> </tr> <tr> <td>盛土 F_層 1</td> <td>7,052.27</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td></td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1301 1254 2175 1353">Optimized for the top-tier segment in each area Through iterative optimization, the target segment shifts sequentially across areas 各エリアの最上位の層を対象として最適化される 最適化を繰り返すことで、エリアごとに対象層が順次切り替わる</p> </div>		掘削 1_層 1	掘削 2_層 1	掘削 4_層 1	掘削 5_層 1	残地土量	盛土 A_層 1	盛土 E_層 2	盛土 D_層 1	推奨の搬送土量 (m ³)	7,052.27	3,202.92	270.57	8,867.03		12,277.10	5,200.51	14,449.01	盛土 A_層 1	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	盛土 B_層 1	0.00	2,574.97	0.00	0.00		0.00	5,200.51	0.00	盛土 D_層 1	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	14,449.01	盛土 F_層 1	7,052.27	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00
	掘削 1_層 1	掘削 2_層 1	掘削 4_層 1	掘削 5_層 1	残地土量	盛土 A_層 1	盛土 E_層 2	盛土 D_層 1																																																
推奨の搬送土量 (m ³)	7,052.27	3,202.92	270.57	8,867.03		12,277.10	5,200.51	14,449.01																																																
盛土 A_層 1	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00																																																
盛土 B_層 1	0.00	2,574.97	0.00	0.00		0.00	5,200.51	0.00																																																
盛土 D_層 1	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	14,449.01																																																
盛土 F_層 1	7,052.27	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00																																																

NO.	対象機能	概要
2	Simulation (機能改善)	<ul style="list-style-type: none"> 概要：プラン比較機能（テーブルビュー形式）を実装 詳細：シミュレーションの比較メニューにおいて、選択した複数プランの計算結果を、従来の土量グラフに加えてテーブルビュー形式でも比較できるようになりました。また、以下の項目では、プランごとの最良値／最低値をマークで確認できるようになっています。 <ul style="list-style-type: none"> 総コスト 稼働日数 燃料使用量 平均施工量 仕事量 併せて、左パネルの表示項目についても一部変更を行っています。



プロジェクト > VAL_Mihama20260226

プロジェクトは最新の状態です

シミュレーション

目標形状

MIHAMA2nd_201

Add the creator (end user) field
作成者(最終利用者)の項目を追加

作成者(最終利用者)

Switch between table view and earthwork graph using tabs
タブでテーブルビューと土量グラフを切替可能

名称	総土量	施工期間	総コスト	稼働日数	燃料使用量	平均施工量	仕事量
20260226	4,486.20 m ³	2026-02-26 - 2026-03-06	¥ 377,021 ●	7日 ●	3,902.88 L ●	640.89 m ³ /日 ●	306,490.84 ●
20260226-2	3,835.30 m ³	2026-02-26 - 2026-03-02	¥ 145,185 ●	3日 ●	1,449.08 L ●	1,278.43 m ³ /日 ●	250,752.13 ●

● : 最良 ● : 最低

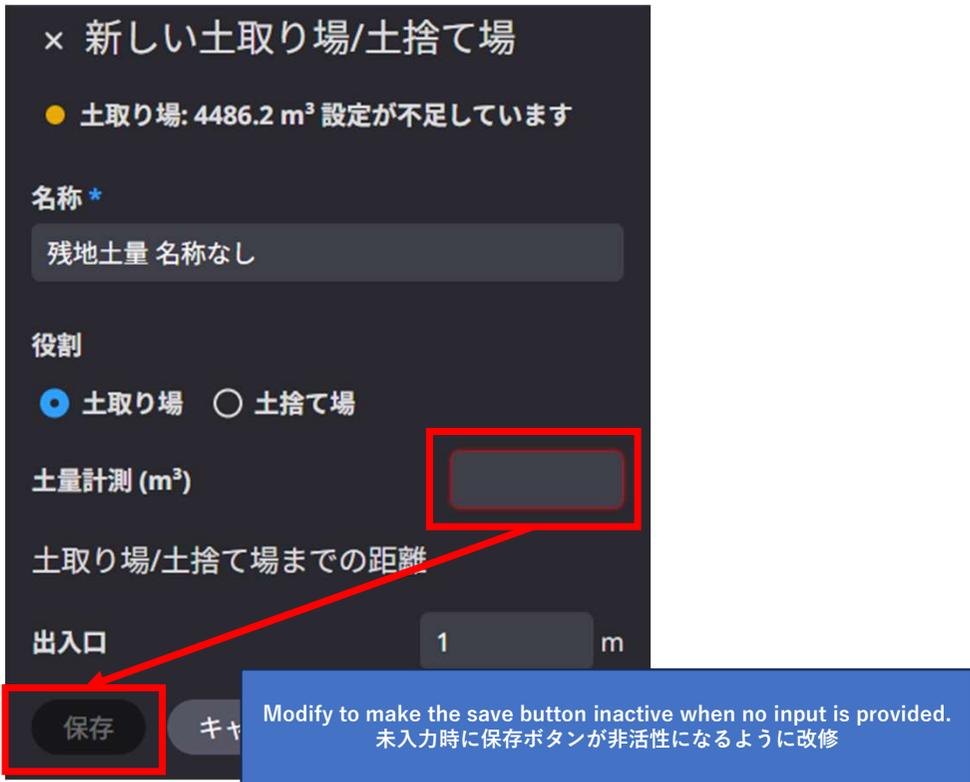
Display ● for the best/worst value in each item per plan
プランごとの各項目で最良/最低の値に対して●を表示

NO.	対象機能	概要
3	Simulation (機能改善)	<ul style="list-style-type: none"> 概要：任意タスク一括インポート対応 詳細：工程表画面にて、任意タスクを Excel データから一括でインポートできるようになりました。任意タスクのインポートダイアログからテンプレートファイルをダウンロードし、作成したい任意タスクを入力したファイルを取り込むことで、一括で作成できます。なお、インポートしても既存の工程表はそのまま保持されます。また、テンプレートのフォーマットを変更した場合、取り込みできない可能性があります。

NO.	対象機能	概要
4	Simulation (機能改善)	<ul style="list-style-type: none"> 概要：利用規約ページURL切り替え対応 詳細：利用規約 (Terms of Service) ページの遷移先を変更しました。ユーザーの言語設定に応じて、以下のページへ遷移します。 <ul style="list-style-type: none"> 日本語：日本語版の利用規約 日本語以外：英語版の利用規約 

NO.	対象機能	概要
5	Simulation (不具合改修)	<ul style="list-style-type: none"> 概要：任意タスク設定プラン複製後にCurrent Schedule送信が失敗する問題を修正 詳細：任意タスクを設定したプランを複製後、複製前の任意タスクが残っている状態でCurrent Scheduleからデータ送信を行うと、データ送信エラーが発生する問題を修正しました。本修正により、複製前の任意タスクを使用しても、正常にデータ送信ができるようになります。

NO.	対象機能	概要
6	Simulation (不具合改修)	<ul style="list-style-type: none"> 概要：土捨て場/土取り場設定時に1m³未満が不足土量判定されない問題を修正 詳細：土捨て場/土取り場の設定において、残土量に対する不足分が1m³未満の場合に、不足と判定されず「バランス」と表示されてしまう不具合を修正しました。今後は、残土量に対して1m³未満の差分がある場合でも、差分を自動調整して残土量と一致するように作成されます。 例：残土量 1000 m³、作成時の土量 999.1 m³ → 保存後は 1000 m³ に自動調整 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="788 703 1335 1367" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>× 新しい土取り場/土捨て場</p> <p>● 土取り場: 4486.2 m³ 設定が不足しています</p> <p>名称 *</p> <p>土取り場</p> <p>役割</p> <p><input checked="" type="radio"/> 土取り場 <input type="radio"/> 土捨て場</p> <p>土量計測 (m³)</p> <p>4486</p> <p>Created with a difference of less than 1m³ 1m未満の差分がある状態で作成</p> <p>保存 キャンセル</p> </div> <div data-bbox="1355 954 1473 1177" style="font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <div data-bbox="1491 703 2038 1367" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>× 土取り場/土捨て場編集</p> <p>● 土取り場: 4486.2 m³ 設定が不足しています</p> <p>名称 *</p> <p>土取り場</p> <p>役割</p> <p><input checked="" type="radio"/> 土取り場 <input type="radio"/> 土捨て場</p> <p>土量計測 (m³)</p> <p>4486.2</p> <p>Automatically adjusted for differences and created based on the amount of excess soil 差分を自動調整したうえで残土量で作成される</p> <p>保存 キャンセル</p> </div> </div>

NO.	対象機能	概要
7	Simulation (不具合改修)	<ul style="list-style-type: none"> 概要：土取り場/土捨て場で土量計測が未入力で保存できてしまう問題を修正 詳細：土取り場/土捨て場で土量計測で未入力の状態で保存することができる問題を修正しました。本修正により、未入力時のチェックが正しく動作し、保存ボタンが非活性となります。 

NO.	対象機能	概要
8	Simulation (不具合改修)	<ul style="list-style-type: none"> 概要：タスクの「日当たり施工量」の編集後に工程表の再計算で値が更新されない問題を修正 詳細：工程表画面で「日当たり施工量」の値を編集した場合に、工程表の再計算時に値が更新されない問題を修正しました。本修正により、工程表の再計算時に値が正しく更新されるようになります。 <p> 作業期間 1日 = 8時間 1 日 3.7 時間 数量 1462.43 m³ 日当たり施工量 1000 m³ 保存 キャンセル </p> <p> シミュレーション ← 工程表 (施工計画) </p> <p> 建機利用 → 工程表を作成 ▼ + 任意タスク 建機シミュレーション ▶ 編集 日当たり作業量による予測 選択した建機能力による予測 残地土量 名称なし → 盛土 A 開始 2026年3月2日 作業着手日: 2026年3月2日 使用する建機グループ: 土配 作業期間 1日 3.70 時間 11.70 時間 </p> <p> ▼ 選択されたタスク 編集 残地土量 名称なし → 盛土 A 種類 土配 残地土量 名称なし → 盛土 A 開始 2026年3月2日 作業着手日: 2026年3月2日 使用する建機グループ: 土配 作業期間 0日 2.34 時間 2.34 時間 数量 1,462.43 m³ 日当たり施工量 5,000.00 m³ </p> <p> Edit daily construction volume 日当たり施工量を編集 </p> <p> Recalculate the schedule table 工程表を再計算 </p> <p> Modify to ensure the daily construction volume is correctly updated 日当たり施工量が正しく更新されるように改修 </p>

NO.	対象機能	概要
9	Simulation (不具合改修)	<ul style="list-style-type: none"> 概要：ダンプの積込時間編集時にキャンセル後も編集時の値で表示される問題を修正 詳細：計算済みプランで計算を再実行する際、ダンプの積込時間の基礎データを編集→キャンセルした場合に編集内容が表示されたままになる問題を修正しました。本修正により、基礎データを編集後にキャンセルした場合は、編集内容が反映されず、元の値が正しく表示されるようになりました。  <p>The edited value is reflected 編集時の値が反映されてしまう → Modified to display the original value 元の値が表示されるように改修</p>

